



なかなか予定が立たない世の中…今度こそ
まち協アンテナショップ開設します
10/3(日)・10(日)・17(日)・24(日)
10:00~15:00



浜益コミセン隣にて浜益の農水産物を販売します
森のピタゴラス(木育おもちゃ)も来るよ!

浜益の名産品
もっと売りたい
です!

うちのモノも
売ってみて!
こんなの出して
みたいんだけど
など

お気軽にご相談
ください!

とき 10:00~14:30
ところ 浜益コミセン隣
(テントを立てます)

浜益中の生徒が、コロナ禍でできなくなった職業体験の代替として、1日ショップを開店します。

浜益の農水産物を、仕入れから売り方の工夫、宣伝など生徒たちが考え販売します。皆さまのご来店、お待ちしております!

10/6(水)
浜益中ショップ開設



10月10日(日)、石狩市の旅行会社アミーケ・インターナショナル(株)とまち協の共同企画、「浜益!秋の魅力たっぷり旅」を行います。
こちら、今回で3回目となる人気ツアーで、郷土資料館や果樹園、浜益温泉など浜益の歴史や景観を楽しんでいただきます。
お昼には、浜益牛やタコ串のバーベキュー、浜益米のおにぎり、リンゴのフルーツピザなどご当地の味覚を堪能してもらいます。
まだまだこのコロナ禍は続きそうですが、「浜益の当たり前を観光コンテンツに」を目指して観光まちづくりを進めていきたいと思えます。
※感染防止対策を徹底して行います。

今年も行います!

秋の味覚ツアー

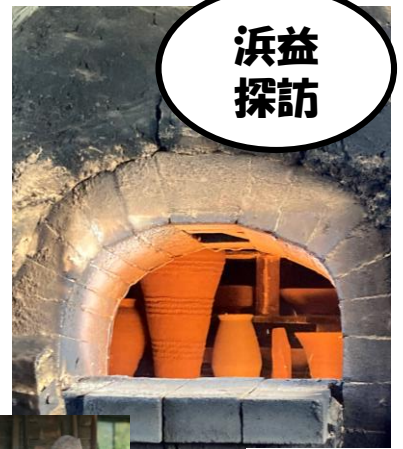
子どもたち待望の「公園」ができました

浜益コミセンの隣に、待望の「遊具のある公園」ができました! こちらは浜益村開村150年の記念事業として作られました。

もうすでに子どもたちの歓声が聞こえる場になっています。みんなで大切に使いましょう。



浜益探訪



【その1】
千本窯
六文焼



先日、毘砂別の陶芸家・左門さんが窯に火入れをしているとのこと、見学させていただきました。

左門さんがつくる六文焼は、年に一度しか窯に火を入れません。なぜなら一週間ほど常に火を絶やさず焼き続けなければならぬから。

一人ではできないため、応援が駆けつけて、みんなで窯の番をするそうです。

昨年はコロナで区外との往来を控えるため応援が呼べず、火入れができませんでした。ですので今回は実に二年ぶり。約二〇〇点の作品を焼き上げましたが、なかには熱で割れたり欠けたりしてしまふものもあるそうです。陶芸の世界は厳しいですね。

今まで見たことがない大きな窯や、その焼き方、釉薬を使わず自然まかせの色であること、陶芸以外にも趣味を楽しんでいること…色々なお話をしてくださいました。浜益にいても知らないことはまだまだあるなあ、と感じた秋の日でした。

濃昼の木村家番屋が、区外の人たちの手によって公開・維持されていたことをご存じでしたか？先日、初めて見学させていただきました。

浜益の番屋と言え、郷土資料館が白鳥家番屋を再現したものであるため、そちらにスボットが当たりがちですが、木村家番屋は白鳥家とはまた違い、何ととっても和風建築に洋風な部分を取り入れているところが万人の目を引きまします。明治時代（推定）の建築で、応接間があるというのも珍しかったそうです。公開日にはひっきりなしに人が訪れていました。しかし残念なことに内部公開は今年をもって終了し、「ごきびる番屋サポートの会」も解散することとした。旅の人たちがこの番屋を守りたいと活動してくださっていたことに感謝です。しかし、このまま番屋が朽ちていくのは非常にもったいない。浜益の歴史の跡を、なんとか残す手立てはないでしょうか？

【その2】
濃昼
木村家番屋



＜会員募集＞ こがね山岳会

黄金山の山開き等、登山をはじめ、山道の環境保全管理や初心者への技術指導といった活動をしています。山が好きな人、未来の担い手になりませんか。

お問合せ：こがね山岳会事務局
(☎ 79-2213)



写真で見るまち協の活動

先日、浜益中学生たちと浜益をPRする動画の撮影を行いました。どんな仕上がりになるかな？お楽しみに！

